

令和5年度

事業計画書

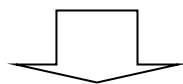
社会福祉法人 楽友会

経営理念

高齢者福祉施設の経営主体である社会福祉法人楽友会は、利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するために、適正かつ活力ある経営に努めます。

また、楽友会は高い公共性と倫理性を旨として、利用者の負託に応えるとともに、地域社会における福祉推進の主導的役割を果たしていきます。

1. 楽友会は、すべての人の基本的人権を尊重します。
2. 楽友会は、利用者に「安全」と「安心」を提供します。
3. 楽友会は、利用者本位の施設経営を行います。
4. 楽友会は、職員の資質の向上に努めます。
5. 楽友会は、地域社会の福祉の充実増進に努めます。
6. 楽友会は、地域に開かれた身近な施設経営に努めます。



将来イメージと将来目標（長期ビジョン2015）

楽友会は、元気な時も、見守りが必要になっても、看取りの最期の時まで、住み慣れた家、住み慣れた地域で安心して生活できるように、福祉・介護・予防・生活支援・住まい・医療・看護・リハビリの相互連携体制が整った多摩市の総合的な高齢者地域包括ケアの一大拠点をめざしていきます。

将来イメージ

介護や福祉の「総合商社」として確固たる拠点を作り、地域においては地域の住民の暮らしに役立つ介護や福祉のコンビニエンスストア的な存在になる。

法人としての目標

- ・ 地域社会にとって頼りになり、地域住民に身近に感じてもらえる法人
- ・ 多摩地域における高齢者福祉サービスをリードする法人

利用者権利宣言

社会福祉法人楽友会は、提供する全てのサービス利用者の権利を尊重いたします。

利用者の皆様は、

- ・ 基本的人権が尊重されます。
- ・ 生活者として「安全・安心」が保障されます。
- ・ 自己決定権が尊重されます。
- ・ プライバシーが尊重されます。
- ・ 財産権が尊重されます。
- ・ 知る権利が尊重されます。
- ・ 職員による専門的・高品質のサービスを受ける権利を有します。
- ・ 意見・質問・苦情を表明する権利を有します。

I. 基本方針

令和5年度 基本方針

【利用者サービス】

これまでの新型コロナウイルス感染対策で培った知見を活かし、誰もが安心して利用できるサービスを提供します。

【人材育成】

福祉・介護事業を担う人材としてよりコンプライアンス意識を高め、地域や利用者、法人の将来を担う人材を育成します。

【財務状況】

健全な収支状況を達成し、法人の将来にむけて財政基盤の強化に取り組みます。

【地域・社会】

地域のセーフティーネットとして、行政や関係機関と協働連携し、高齢者の権利擁護をはじめ地域住民の福祉の充実増進に取り組みます。

令和2年1月に新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてからすでに3年が経過しました。3年前の春、多摩センター駅から山王下施設に向かう乞田川沿いの満開の桜をお花見する人の姿はなく、ニュータウン通りを走る車もまばらで、誰もが未知の感染症に対する警戒を高めていました。その後現在に至るまで、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置が幾度も繰り返され、3年間で私たちの日常は大きく変化しました。

この間、当法人も入所施設でのクラスター発生や通所事業所の一時休止など、非常に厳しい状況に何度か直面しました。しかし、その都度、職員が一丸となって危機を乗り越え、介護福祉サービスの提供に努めてきました。

そして令和5年度、新型コロナウイルスへの対応は新たな局面を迎えます。5月に感染症法の位置づけが5類に変更されることで、医療体制や感染対応も大きく変わることが予想されます。重症化リスクの高い高齢者が数多く利用される当法人施設事業所では、これまでの感染対策対応で得た経験を活かし、より安心安全なサービスを提供できるよう引き続き取り組んでまいります。

社会福祉法人 楽友会

Ⅱ. 法人の主要な取り組み

1. 重点取組項目

項 目	取 組 み
ガバナンスの強化と法人管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種規定の見直しと職員の正しい理解を得るための社内ルール運用マニュアルの策定等を行う。 ・ 法人内部管理体制の再構築を行い、職員のコンプライアンス遵守のためのシステムを構築する。
人事制度の見直し及び改編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度からの新人事考課制度とキャリアパスの変更に伴う考課者研修を実施する。 ・ 改編に伴う職員理解を得るための説明会を実施する。 ・ 適正な運用にむけても協議を定期的に行う。
健全経営を目的とした管理職層の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営や経営に関する管理職の意識改革に取り組み、健全に運営経営できる体制づくりに取り組む。 ・ 管理職対象の研修制度を充実し、法人の安定した経営を目指していく。
山王下施設大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度着工に向けた東京都との協議を継続する。 ・ 利用者や職員の負担を減らすための適切な「居ながら改修工事」方法を検討する。 ・ 地域、利用者、家族、職員への説明会等を実施する。
第2期経営計画の改定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年目となる第2期経営計画について、これまでの取り組みや現在の状況から見直しを図る。

2. 第2期経営計画への対応

項 目	取 組 み	新規・継続
人事制度の見直し及び改編	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の事業計画を引継ぎ、令和6年度開始に向けた具体的な準備 	第2期経営計画の継続
山王下施設大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度中の施工に伴う具体的な準備 	第2期経営計画の継続

3. 主要な施設整備

項目	目的
屋上消火補給水槽更新工事	屋上の消火補給水槽の劣化に伴う更新工事
特別養護老人ホーム白楽荘 介護ベッド購入	経年劣化に伴う平成24年度以前に整備したベッド17台の更新
白楽荘厨房機器更新	耐用年数を超えて老朽化した食洗器を入れ替える。

4. 運営する事業

種別	施設名	利用者 定員	職員数（うち 非常勤）
法人事務局	企画総務・施設管理		21(15)
特別養護老人ホーム	白楽荘	150	80(18)
短期入所生活介護	白楽荘	10	4(2)
軽費老人ホーム	偕楽荘	50	11(3)
通所介護	白楽荘デイサービスえがお	30(1日)	25(21)
認知症対応型通所介護	白楽荘デイサービスほのぼの	12(1日)	
認知症対応型通所介護	ほのぼの堀之内	12(1日)	9(7)
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所		3
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所 とよがおか		3
地域包括支援センター	多摩市多摩センター地域包括支援 センター		7(1)
地域包括支援センター	八王子市高齢者あんしん相談セン ター由木東		8
		職員数 合計	正職員 104 非常勤 67 計 171

Ⅲ. 施設・事業所の主要な取り組み

1. 入所サービス

i. 特別養護老人ホーム

提供するサービス	原則として要介護3以上の認定を受ける要介護高齢者に入浴、排せつ、食事等の介護、相談及び援助、機能訓練等の日常生活全般における介護サービスを提供する。
----------	--

【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	150名
基本方針	利用者が安心して毎日を過ごせるよう各部門の職員が専門性を活かし協働して支援に取り組む。また、行政、医療機関、在宅支援事業所等の関係機関と積極的に連携し、高齢者福祉のセーフティネットとしての役割を果たす。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	95.0%	94.7%	95.0%	93.0%	90.0%
収益(千円)	678,000	676,814	678,000	663,000	630,000
前年度の振り返り	令和4年8月から9月、令和4年12月から令和5年2月にかけて新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生。施設内療養に取り組むが影響により利用率は減少した。				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症への対応力の強化 ・ 空床発生から新規入居までのさらなる迅速化 ・ 入所待機者数の確保 ・ 大規模改修工事にむけたベッド利用の調整 				

● 提供サービスの充実・向上

- ・ ウィズコロナ下でのレクリエーション活動、クラブ活動、行事等の再開に取り組み、日常生活の活性化を図る。
- ・ 大規模改修期間のサービス提供方法についての検討と実施
- ・ 日常生活の質向上と利用者個々の自立支援を図るケアプランを策定し、利用者に質の高いケアサービスを実施する。
- ・ 介護職・看護職の連携による医行為(痰吸引)への対応に取り組む。
- ・ 介護職・リハビリ職の連携による心身機能や生活の質の維持に取り組む。

● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 介護・福祉人材の育成のため実習生の受入れを積極的に行う。
- ・ 新しいキャリアパス体系と人事考課制度について習熟し、職員個々のキャリアビジョン構築にむけて取り組む。
- ・ 他事業所や施設との交流を通じてよりよい実践例などを学ぶ機会を設ける。

● 地域にむけて

- ・ 地域のセーフティネットととして虐待等により緊急で入居が必要な場合に関係機関と連携し対応する。
- ・ 施設からの情報発信を強化し、家族や関係者には適宜適切な情報を提供し、地域には施設機能の周知を図る。

ii. 軽費老人ホーム

提供するサービス	原則として60歳以上の介護を要しない高齢者の入居施設として、高齢者が自立した生活が送れるよう、食事、入浴機会の提供、日常生活に必要な支援を提供する。また、必要に応じて介護保険サービスの利用について支援する。
----------	---

【 施設事業所 】

施設事業所名	軽費老人ホームA型 偕楽荘
定員	50名
基本方針	自立型の高齢者福祉施設として、施設入居者及び地域高齢者の健康寿命増進と介護予防に取り組み、高齢者の明るくいきいきした生活の実現に取り組む。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	100%	100%	100%	100%	100%
収益(千円)	134,000	138,381	137,000	137,000	137,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度も退居者が続き、昨年度を上回った。それに伴い待機者としては一定数確保しているものの、すぐの入居を希望される方は少なく、申し込まれてすぐに入居の声をかける状況である。 感染対策を講じながら入居相談や施設見学には迅速に応じた。 退居や心身機能の低下により介護保険サービスに移行され、重度者加算対象者は減少した。 				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 入居申込者の確保にむけてPR活動を積極的に行う。 東京都運営補助金における加算等を継続して取得していく。 				

● 提供サービスの充実・向上

- ・ 健康を維持し、偕楽荘での生活を長く続けていけるよう、フレイル予防・介護予防につながる活動を実施する。
- ・ 日常生活におけるリスクの低減を図り、安心・安全な生活が継続できるように努める。
- ・ 感染対策を講じながら年間を通じて行事やイベントを企画し、施設内での楽しみや人との交流・生きがいを感じられる機会を作る。

● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 軽費老人ホーム職員として、高齢者の自立支援のために幅広く知識を身につけていけるよう、多様な研修を受講し研鑽に努める。
- ・ 他施設・他事業所等との交流を図り、視野を広げる機会をつくる。

● 地域にむけて

- ・ 感染対策を講じながら、地域高齢者が在宅での生活を安心して過ごせるための取り組みを行う。
- ・ 利用者が地域社会とのつながりを感じられるように、地域の一員として活動する取り組みを行う。
- ・ 施設が地域との関係を深めていくために、地域住民や関係機関にむけて、施設のPR活動を実施する。

2. 在宅サービス

i. 通所介護

提供するサービス	要介護状態（要支援も含む）になっても、自立した生活がその居宅で営むことが出来るよう、日常生活の支援や必要な機能訓練、レクリエーション活動など行う。
----------	---

【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスえがお
定員（1日）	30名
基本方針	個々の利用者の意見や要望を取り入れた通所介護の在り方を基本に、「効果的な認知症療法」・「楽しい機能訓練」・「多彩な趣味活動」の3つを柱に、利用者が安心して地域で生活出来るように支援する。また、家族の介護負担が軽減できるよう、家族支援と地域活動への取り組みを行う。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	63.0%	65.6%	70.0%	65.2%	68.0%
収益（千円）	71,500	69,172	73,500	68,900	67,200
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度7月から8月末に掛けて、事業所内でのクラスター発生や職員の感染で絶対数が確保出来ず、7月末の1週間と8月中の土曜日の一時中止を余儀なくされ収益が極端に落ち込んだ。 令和4年度12月以降は、利用者及び同居家族の新型コロナウイルスの感染で極端に稼働率が低下した。 職員間で新たなプログラムを構築し、ボランティアの受入れを開始するなどの実績を作ることができた。 				

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した収入の確保 ・ 職種間の役割を超えた取り組み ・ 在宅サービス専門委員会（感染症対策、ハラスメント、高齢者虐待、災害対策）の充実 ・ 利用者支援プログラムの充実
---------------	---

● **提供サービスの充実・向上**

<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的な生活リハビリテーションの充実 ・ 新型コロナウイルス感染症対策を講じた利用者支援の充実
--

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッションを活用した研修制度の充実 ・ 全職員の意見を取り入れた支援内容の取り決めを行う
--

● **地域にむけて**

<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人ボランティア委員会と共同した地域のボランティアとの交流 ・ 職場体験や介護実習など、地域の学校や団体からの実習等の受入れ

ii. 認知症対応型通所介護

提供するサービス	認知症と診断がされた利用者に対して、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練（リハビリテーション）等を提供する。
----------	--

【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスセンターほのぼの
定員（1日）	12名
基本方針	利用者が、住み慣れた地域で安心して継続的に生活できるよう、認知症に関する専門的なケアと自立支援に向けた取り組みを行う。また、認知症になっても住みやすい街づくりを目指し、関係機関と連携し地域に認知症への支援が根付く活動に取り組んでいく。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	80.0%	64.7%	80.0%	69.5%	70.0%
収益（千円）	42,200	35,302	42,060	35,000	34,600
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度7月から8月末に掛けて、事業所内でのクラスターの発生や職員の感染で絶対数が確保出来ず、8月中の土曜日の一時中止を余儀なくされ収益が極端に落ちた 令和4年度12月以降は、利用者及び同居家族の新型コロナウイルスの感染で極端に稼働率が低下した。 令和4年度後半は入退院やサービスの終了者も重なり、登録者の入替えが多く見られた。 認知症支援についても、コロナ禍で外部とのセッションが予定どおりいかずにプログラムも試行錯誤を繰り返した。 				

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定した収入の確保 ・ 職種間の役割を超えた取り組み ・ 認知症支援の充実 ・ 在宅専門員会（感染症対策、ハラスメント、高齢者虐待防止、災害対策）の充実
---------------	---

● **提供サービスの充実・向上**

<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所介護計画を基本とした認知症個別支援の充実 ・ 感染症対策を講じた上でのサービスの拡充

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

<ul style="list-style-type: none"> ・ グループディスカッションを活用した研修制度の充実 ・ 全職員の意見を取り入れた支援内容の取り決めを行う
--

● **地域にむけて**

<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人ボランティア委員会を中心とした地域のボランティアとの交流 ・ 職場体験や介護実習など、地域の学校や団体の受入れ ・ 地域密着型運営推進会議の開催
--

【 施設事業所 】

施設事業所名	認知症対応型通所介護 ほのぼの堀之内
定員（1日）	12名
基本方針	住み慣れた地域で家族と可能な限り在宅で生活出来るよう、認知症ケアに関する専門的なサービスを提供する。また、認知症になっても住みやすい街づくりを目指すために、関係機関と連携し地域に認知症への支援が根付く働きかけを行う。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	84.0%	74.6%	83.0%	56.0%	70.0%
収益（千円）	44,200	40,649	42,350	32,558	37,973
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 6月のクラスター発生で12日間事業の休止を余儀なくされた。 入院者による影響で稼働率が伸び悩み、12月中旬以降も利用者やその家族からの新型コロナ感染が続き、11月以降改善した稼働率だったが第4四半期以降は低迷した。 利用者の重度化が進み、体験農園への参加が難しい利用者が大半を占め、年度途中には大幅な認知症支援の転換を図った。 				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 安定した収入の確保 長期的なビジョンを意識した運営方針の検討 新たな認知症支援の展開 職員配置の適正化と常勤職員の役割の明確化 在宅専門委員会（感染症対策、ハラスメント、高齢者虐待防止、災害対策）の充実 				

● **提供サービスの充実・向上**

- ・ 利用者の意向を反映させた認知症支援の充実
- ・ 新型コロナ感染症対策を講じた利用者支援の充実
- ・ 潜在機能を引き出す生活リハビリテーションの充実

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ グループディスカッションを活用した事業所内研修の充実
- ・ 職員の意見を反映させた事業運営の実践

● **地域にむけて**

- ・ 地域密着型運営推進会議の開催
- ・ ボランティアセンターと共同した地域ボランティアとの交流
- ・ 地域の認知症家族会との交流
- ・ 実習生の受入れ

iii. 短期入所生活介護

提供するサービス	要支援、要介護認定を受けた在宅で生活している高齢者を短期間施設に受け入れ入浴や食事などの日常生活の支援を行う。
----------	---

【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	10名（他 特養空床利用10床）
基本方針	利用者が地域の中で相互に社会的関係を築きながら、住み慣れた自宅での生活を継続できるように、利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復、家族の介護負担の軽減を図る。

【 重点取組項目 】

● 利用率目標・収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	100%	97.7%	100%	100%	91.0%
収益（千円）	46,000	44,324	46,000	46,000	42,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により1月から2月にかけて利用率が低下した。 要緊急対応ケースの受入れを関係機関と連携を図り取り組んだ。 				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 適切な感染対策による新型コロナウイルス感染症への感染予防 大規模改修におけるベッド数削減に対する円滑な利用調整 				

● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活の継続を意識して利用者の身体機能や安定した生活リズムの維持に取り組む。

● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 介護・福祉人材の育成のため実習生の受入れを積極的に行う。
- ・ 新しいキャリアパス体系と人事考課制度について習熟し、職員個々のキャリアビジョン構築にむけて取り組む。
- ・ 他事業所や施設との交流を通じてよりよい実践例などを学ぶ機会を設ける。

● 地域にむけて

- ・ 地域のセーフティネットととして虐待等により緊急で入居が必要な場合に関係機関と連携し対応する。
- ・ 施設からの情報発信を強化し、家族や関係者には適宜適切な情報を提供し、地域には施設機能の周知を図る。

iv. 居宅介護支援

提供するサービス	介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャーが心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿ってケアプランを作成し、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行う。
----------	---

【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所
基本方針	在宅の利用者が適切に介護サービスを受けられるよう、介護支援専門員が居宅サービス計画書の作成を行い、自立した生活が送れるよう支援していく。

【 重点取組項目 】

● 収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
収益（千円）	20,150	19,223	17,800	16,200	16,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 年度途中の職員の退職や異動により、令和4年度の計画通りに進まなかった部分がある。しかし、管理者を中心に豊ヶ丘居宅とも連携して、修正した目標には達することが出来た。 新規の受入れで契約に結び付くケースが50%以下になっており、費やした時間と件数が比例しない傾向が強くなってきている。 				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 担当件数の管理なども含めた安定した事業運営への取り組み ケアマネジメントの資質向上 在宅専門委員会（感染症対策、ハラスメント、高齢者虐待防止、災害対策）の充実 				

● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> チームケアの充実による利用者支援 経営や運営面での豊ヶ丘居宅との連携強化

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ ケアマネジメントの向上を目的とした事例検討会や勉強会への参加
- ・ 職員の意見を反映した法人への提言

● **地域にむけて**

- ・ 地域への貢献に向けた関係機関との連携
- ・ 居宅介護支援事業所の特徴を活かした地域住民や団体との連携
- ・ 介護保険認定審査会への選出
- ・ 主任介護支援専門員連絡会へ会長としての参加

【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所とよがおか
基本方針	在宅のご利用者が適切に介護サービスを受けられるよう、介護支援専門員が居宅サービス計画書の作成を行い、自立した生活が送れるよう支援していく。

【 重点取組項目 】

● 収益目標

	令和3年度		令和4年度		令和5年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
収益（千円）	15,900	16,908	17,050	16,680	16,800
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規の紹介は多いが終了するケースも多く、数字には大きく結び付いていない。また、新規相談が契約に至るケースが減少しており、人的な労力と収入が比例していない傾向が強い。 ・ 「とよよん」の運営は計画以上の成果を出しているが、本来の居宅としての役割に重点を置くと「とよよん」を通じての地域連携は難しくなるのが現状である。 ・ 豊ヶ丘拠点の収支について、「とよよん」の運営で事業費と事務費の負担が多く押し掛かっている。 				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊ヶ丘拠点の収支改善や事業内容の見直しへの取り組み ・ 多摩市、UR、多摩市社会福祉協議会とのとよよん事業4者協議会で運営形態や経営状況の協議 ・ 実績件数を意識した事業所運営の安定化 ・ 在宅専門委員会(感染症対策、ハラスメント、高齢者虐待防止、災害対策)の充実 				

● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> ・ チームケアに重点を置いた総合的なサービスの提供 ・ サービスの向上を目的とした白楽荘居宅との連携強化

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ケアマネジメントの向上を目的とした事例検討会や勉強会への参加
- ・職員の意見を反映した事業所運営

● **地域にむけて**

- ・「とよよん」を通じての地域住民との連携
- ・地域活動を主体とする団体とのイベント交流

3. 受託事業

i. 地域包括支援センター

提供するサービス	市町村が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。
----------	--

i. 地域包括支援センター

提供するサービス	市町村が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。
----------	--

【 施設事業所 】

施設事業所名	多摩市多摩センター地域包括支援センター
基本方針	<p>団塊の世代が75歳以上となる平成37(2025)年を目途に、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制構築の更なる推進に向けて、以下の方針を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事業計画及び重点目標の策定 (2) 相談機関としての周知啓発 (3) 高齢者の自立生活の継続に対する支援 (4) 地域との連携体制の構築 (5) 地域包括ケアシステムの構築 (6) 地域課題解決に向けた地域ケア会議の実施 (7) 個人情報の保護 (8) 苦情への適切な対応 (9) 「公的な機関」としての公正・中立性の確保

【 重点取組項目 】

● 収益予算

	令和3年度実績	令和4年度見込み	令和5年度予算
介護予防支援収益	12,555 千円	12,800 千円	12,800 千円

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防支援費・介護予防ケアマネジメント費収入の安定的確保 ・ 人件費支出の適正化 ・ 事業費支出の適正化 ・ 事務費支出の適正化
---------------	--

● **提供サービスの充実・向上**

- ・ 自立支援型ケアマネジメント能力の向上。
- ・ 「総合相談支援業務」をはじめとした業務遂行能力の向上。

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 職員個々の業務遂行能力の向上。

● **市の実施方針への取り組み**

- ・ 相談機関としての市民（高齢者）への周知啓発。
- ・ 地域特性・課題や市民ニーズの把握、社会資源の把握。
- ・ 関係機関（介護サービス事業者、医療機関、その他関係機関、民生委員等）とのネットワーク構築。
- ・ 介護支援専門員に対する支援・助言の実施。
- ・ 地域ケア会議（認知症を含めた個別ケース、地域課題）の開催。
- ・ 認知症高齢者への支援、疾患や対応等の正しい理解についての普及啓発。

【 施設事業所 】

施設事業所名	八王子市高齢者あんしん相談センター由木東
基本方針	「高齢者が心豊かに暮らせる市民生活の推進」及び「高齢者が生きがいを持ち安心して生活できる地域づくり」を実現するために、地域包括ケアシステムの強化を市と連携して進める。公共性・地域性・協同性の視点を持ち実施する。

【 重点取組項目 】

● 収益予算

	令和3年度実績	令和4年度見込み	令和5年度予算
介護予防支援収益	8,187千円	8,315千円	9,000千円
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3職種、プランナー、認知症地域推進員、第2層生活支援コーディネーターの規定配置を行う。 ・ 介護予防支援費、介護予防ケアマネジメント費、認定調査費、実習費の確保。 ・ 事業費、事務費の適正化。 		

● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員ひとりひとりの資質向上を図る。 ・ チームアプローチの遂行。 ・ 他機関との連携を意識的に行う。 ・ 市民課、地域福祉推進拠点由木東と連携しスムーズな窓口対応を行う。
--

● 人材育成・やりがい・はたらきがい

<ul style="list-style-type: none"> ・ ケース、事業等、必ず複数で情報共有を行い進行管理する。 ・ 研修や地域の会議へ積極的に参加する。 ・ 各担当が他機関と連携し講座や会議を開催する。

● 市の実施方針への取り組み

- ・ 担当地域や近隣地域の高齢者関係以外の事業所・関係機関と連携し、社会資源の開発や地域づくりを行う。
- ・ 「認知症になっても安心して生活できる地域」を目指し各事業に取り組む。
- ・ 地域や関係機関と連携し社会資源の開発や地域づくりを行う。
- ・ 介護支援専門員への適切なアドバイスやサポートを行う。
- ・ 八王子版自立支援「リエイブルメント」を地域の専門職と連携し地域に浸透させる。

- ・ 地域高齢者の自立支援、重度化防止。
- ・ 関係部署、関係機関との連携強化。
- ・ 認知症当事者や家族への支援、地域との共生と認知症予防
- ・ 地域包括ケアシステム充実にむけた社会資源の開発や地域づくり。
- ・ 地域の支援力向上にむけた包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ・ 虐待防止や対応、高齢者個々の権利擁護の推進
- ・ 高齢者のICT活用の推進